

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トレスポ南仙台		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		2025年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		2025年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりの特性に合わせて療育を実施し、自己肯定感が高まるよう、「できた」を感じることができる課題の設定や集団活動の設定を行っている。	集団活動の内容は同じでも、個々のレベルに合わせて難易度を変え、少し頑張ったら達成できるものに設定している。 簡単すぎたり難しすぎたりしないよう、意欲的に取り組める環境設定を行っている。 毎朝のミーティングや打ち合わせで児童の情報を共有している。	職員研修や外部研修を通して、職員の質の向上を目指していく。 一人ひとりのアセスメントをしっかり行い、統一した支援を行うことが出来るよう情報共有を徹底していく。
2	毎回ビジョントレーニングを行い、みる力を育てることで基礎感覚を強化し運動や学習、集中力の向上に力を入れている。	おやつ後の時間や始まりの会のときなど、短時間で出来るものを用意し、毎日ビジョントレーニングを行えるようにしている。 遊びの中で視覚機能を高めるものを取り入れている。 認定ビジョントレーナーが在籍している。	職員研修を行い、統一した支援が出来るよう取り組んでいく。
3	事業所での日々の出来事や行事など、連絡帳アプリやインスタで活動の様子をお伝えしたり、公式LINEを使って感染症や地震、警報が出た時に発信を行い、情報共有を行っている。	アプリで毎回写真付きでお子さんの様子が分かるよう、活動や課題を行っている様子を伝えている。送迎時にも、当日の様子や気になったことを伝え共有を行っている。 年に2回保護者交流会を実施し、動画や写真で様子をお伝えしたり、保護者の不安や悩み事を話せる場を設けている。	勉強会や子どもと関わり方についてのペアレントトレーニングを実施したり、子育てのためになる情報の発信を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学前に利用していた保育園や幼稚園との間で情報共有と相互理解について、保護者を通して確認することが多い。	保育園で使っていた支援計画や支援の方法など用紙がある場合には確認させて頂き支援に反映することが出来ているが、ない場合は保護者からの聞き取りが主となっている。	特に自傷・他害があるなど手厚い支援が必要な子どもについては保育園や幼稚園の先生から直接様子を伺ったり担当者会議を行って情報共有していく。
2	地域の子どもと一緒に活動する機会が少ない。	平日はなかなか外に出ることが難しいため事業所内での活動がメインとなっている。 長期休み時はイベント等を行い、地域の子どもとの交流を図ったが参加者は数名だった。	イベントを行う際は、インスタを用いたりチラシを配ったりして周知出来るよう事前に計画していく。 また系列保育園との交流も出来るよう企画していく。
3	支援後の振り返りについて、当日中は難しく翌日になっている。	帰りの送迎があり、その後すぐ退勤時間となる為じっくり振り返りをすることが出来ない。クラスごとの振り返りは出来る限り当日行っている。 翌日午前中のミーティングでは非常勤職員が参加できず直接共有が難しい。	特記事項は当日中に周知出来るよう徹底する。 ミーティングは送迎時間に影響がなければ午後の時間も行き、情報が行きわたるようにしていく。 今後もミーティングの議事録の確認は、全員必ず行っていく。